

被災をのりこえ伝統的な寺院様式を鉄筋コンクリートで再現！

せんちやくじほんどう

選擇寺本堂



大正 12 年 (1923) の関東大震災で被害を受けた本堂を、昭和 5 年 (1930) に鉄筋コンクリート造りで建築したものです。屋根の垂木・斗拱などの意匠は、細部にわたって木造建築の手法を忠実に模しています。建築当初の屋根は瓦葺でしたが、昭和 62 年 (1987) に発生した千葉県東方沖地震によって屋根が崩落したことから、現在のような銅板本瓦棒葺に改修されました。昭和初期の時代の特徴を示した寺院建築です。

国登録有形文化財：建造物

登録年月日：平成 12 年 2 月 15 日

所在地：木更津市中央 1-5-6

所有者：宗教法人 選擇寺

員数：1 棟

公開・非公開の別：公開

※「登録文化財制度」は、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度で、国や地方公共団体が指定していない有形文化財が登録されます。

国宝・重要文化財・都道府県指定文化財・区市町村指定文化財とは区別しています。